

1987~1988

<第1192回例会> 第 36 号

3月9日の記録

- ◎司 会 川村 邦雄 会長
- ◎斉 唱 我等の生業
- ◎ピジター 函館R.C.澄 信一 君他9名、五稜郭R.C.太田 進 君他6名、函館東R.C.島田栄一君他2名

- ◎会長報告 川村 邦雄 会長
- 2月19日当クラブ名誉会員、俣野純夫氏 逝去いたしました。ご冥福を祈ります。当クラブより弔辞とご香典をおくりました。奥様からもくれぐれもよろしくとのことです。

- ◎幹事報告 斉藤 紀一 幹事
- 松本空港R.C.チャーター・ナイトのご案内、5月29日松本音楽文化ホール 登録料 12,000円

- ◎親睦委員会 南木 哲雄 会員
- ニコニコBOX投入報告
- 青柳 会員……誕生祝いただきました。
- 川村(姻)会員・中野会員・山本会員・新 会員・川村会長・伊藤(姻)会員・安藤会員・南木会員・橋場会員……BOXに協力。

◎ 出席 報告

会 員 数	64名	出 席 率	函 館 北 3月 2日	90.32%
出 席 席	37名		函 館 東 3月 1日	88.31%
欠 席 席	27名		函 館 3月25日	89.38%
他クラブ出席	19名		函館五稜郭 3月26日	100.00%
出席合計	56名		函館亀田 3月29日	78.26%
除 外 者	2名			

次回・3月23日
プログラム

「私 の 日 本 感」

アルーン・クマル・バガイ 氏

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函 館 国 際 ホ テ ル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1987~1988

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

チャールズ C. ケラー 国際ロータリー会長テーマ

ROTARIANS--

UNITED IN SERVICE--DEDICATED TO PEACE

ロータリアン--

奉仕に結束—平和に献身



鈴木 巖「静かな朝」制作年不詳 油彩・キャンバス 38.0×46.0

《第1194回例会》 第 38 号 3月23日(水)

本日のプログラム

「インドと日本の文化について」

アルーン・クマル・バガイ 氏

★会 長 川村 邦雄

★幹 事 斉藤 紀一

1987~1988

〈第1193回例会〉第37号

3月16日の記録

- 司 会 川村 邦雄 会長 ●齊 唱 手に手つないで
- ピジター 函館R.C.高野洋蔵君 他6名、函館東R.C.柳沢 勝君他1名
- ゲ ス ト 函館中央病院形成外科部長 浜 本 淳 二 氏

- 会長報告 川村 邦雄 会長
 - 開会の前に3月14日ご逝去されました里城由雄会員のご冥福を祈り、黙とうを捧げたいと思います。
 - 里城会員の葬儀は3月16日が通夜で、3月17日が告別式でございますので、お知らせします。時間の許す限り会員の皆さんのご焼香をお願い致します。
 - 函館視聴覚障害者協会より、ろう啞者の冬季大会が無事終了したことの報告がありました。
 - 3月13日長万部R.C.の創立20周年記念式典がありまして、会長・幹事共々出席して参りました。この詳しい様子については、3月30日夜、開かれます当クラブ25周年記念事業企画会議において、報告したいと思います。
- 幹事報告 齊藤 紀一 幹事
 - 北海道覚醒剤乱用防止推進南渡島地区協議会がこの度開かれまして、3月15日より3月18日まで函館市役所1階ロビーにおいてパネル展を行いますとの事です。会員の皆さんには、ご覧戴きたいと思います。
 - 本日臨時理事会を例会終了後行いますので理事の方は出席して下さい。
 - 台北R.C.より会報が届いております。ご覧下さい。
- 親睦委員会 吉行 信幸 会員
 - ニコニコBOX投入報告
 - 太田会員・吉行会員・安藤会員・富岡会員 } 青函トンネル開通を祝して。
 - 久保会員・寺西会員・松橋会員
 - 川村会員・齊藤会員・藤井会員・近藤会員……BOXに協力。

金沢 会員………ホームクラブ欠席がちのため。

●卓 話 「カルテの余白」

函館中央病院形成外科部長 浜本 淳二 氏

私は昭和37年に北大医学部を卒業し、昭和38年に三浦先生と言う方が皮ふ科の教授をしております、そこへ形成外科が軒先を借りていたのですが、そこに入った次第です。私が北大に入りましてしばらくすると、三浦先生が毎週水曜日から木曜日に行先をR.C.と書かれて出かけるんですね。当時の医局長に聞きましたらこれはレコードコンサートだよと云われたものでした。三浦先生という方は音楽の好きな方なのかなと思ったものでした。しばらくしてから一緒に入った同僚が医局長に聞いたところR.C.とはレッドクロスだよと云われたそうです。ある時三浦先生に直接お聞きしたところ、あゝこれはロータリークラブだよと教えられはじめてロータリークラブと云うものを知った次第です。

私は形成外科に入ったのですけれど、当時は末だ形をなしておりませんで、北大では皮ふ科の中にありましたし、大学によって軒先を借りていた所が違うんです。ご存知の通り病院にはいろいろな科がありますが、すぐに分るのは小児科とか、産婦人科とかありますが、字を見てすぐに判らない科があります。整形と形成外科とはなかなか判断しにくいようですね。例えば整形外科は、これは運動に関する部分を扱う科なのです。形成外科はその逆だと言う人が居りますが、形成外科には2つの大切な技術があります。その一つはキズをきれいに縫うという技術であり、他の外科では真似の出来ない技術であります。もう一つは、いろいろな組織を他に移殖するという技術であります。自分の皮ふとか神経、筋肉などを移殖するという技術であります。つまり縫う技術と移殖する技術と言う事になります。

病気の対象は大きく分けて3つあります。第1は奇形であります。生れつき耳がないとか、大きなアザがあるとかですね。第2に交通事故などに依る外傷を扱います。いわゆるケガを扱うわけですね。第3はガンであります、ガンに依って醜くなった個所に身体の一部の皮ふを移殖してきれいに仕上げるということであり、ですからきれいに縫うという技術と移殖するという技術を使って奇形とか外傷とかガンによる切除個所を移殖によって治すのが形成外科の特徴であると言

うこととなります。

ところで、形成外科というのは古い歴史を持って居ります。イギリスにウォーレスと言う大変有名な形成外科の教授がおりまして、今から20年前にキリストの家族、いわゆるホーリーファミリーがどう云う経路を辿ってベツレヘムから旅をして行ったか、という事を調べたのです。その時、そのファミリーはあっちこち隠れながらリノコルーラという町を目ざして旅をして行ったと言う事が判ったわけです。リノコルーラという所は、ガザと言う所の近くです。このリノというのは人間の鼻と言う意味です。従ってリノコルーラというのは鼻のない人が集っている町という意味で、何故そこへ行ったのかと言うと、そこでは1年に1回「市」が開かれるのだそうで、ファミリーはこの市をめざして旅をしたと言う事だそうです。それじゃ何故鼻のない人がそんなに多く集っているのかと言うと、昔は鼻のない人が結構多く居たそうです。何故かと言いますと、一つには刑罰で鼻を殺ぐんですね、アラブは非常にはげしい国でドロボーは腕を落され、変なものを見た人は眼をくり抜かれるそうです。又戦争での捕虜の鼻を殺ぎ、相手方に帰して他の兵士に恐怖心を抱かせる、いわゆる神経戦略として利用されたとも言われております。

そのない鼻をなんとかしたいと言う事で顔の皮ふを移植して鼻を作る方法がインドで行われ、これがインド法となりました。又もう一つは腕の皮ふを使って鼻を作る方法がイタリアで行われました。これがイタリア法というものです。今日でもインド法とイタリア法は形成外科において根源的に採用されております。

形成外科が認識されましたのには戦争が大いに関係があります。第一次世界大戦の際、非常に多くの負傷兵が出まして、ヨーロッパでは形成外科の先生が動員されて負傷兵の治療に当たったのですが、その時に形成外科という独立した科として必要なのではないかということで始まり、現在の形成外科の芽生えがあったと思われまゝ。世界的に形成外科への認識が高まったのは第2次世界大戦時でありまして、その後次第に広って行ったのであります。

ところが日本では昭和30年頃、形成外科という言葉が入って参りまして、当時はキズをきれいに縫うというのが拡大されて解釈されていたようです。乳房はやはり女性のシンボルでありまして、ガンで切除した後は精神的に非常に落ち込むのですが、背中の中を移植して見事な乳房が再生されると、性格が

明るくなり精神的に立直ったという例は数多くあります。人間が気持の上で元気づくという様なことは、医学の教科書には出て来ないものであり、形成外科と言うのは今まで医学で欠落した部分を拾い上げてくれる部分のあることを知って戴きたいと思ひます。

戦争と形成外科とは大いに関係があると話しましたが、近くでは朝鮮戦争が形成外科の面で大いなる影響を与えました。当時アメリカ軍の軍医として従事したハーバード大学出身のミラード先生は多くの将兵の手術を手がけたのは勿論であります。朝鮮の子供たちの三ツ口の手術を片っ端からやったそうです。そして遂にミラード法といわれる方法を確立したのであります。

ミラードが第1番目に手がけた手術は、親の承諾を得ずに行ったそうですが、この手術の場合には必ず3つの要件が具ってなければならぬ事になっております。すなわち承認をとること。手術の必要性があること。そして術法が適法であることであります。これではなければ法律上傷害罪の訴追を受けることになるわけです。今日では交通戦争ということが言われておりますが、交通事故によるケガが非常に多くなっており戦争と同じ位の数10万人という数になっていると思ひます。

今から10数年前に道新に「カルテの余録」という欄がありまして、これを医者が10人で交代で書いておりました。当時は実名を書かず、イニシャルだけで書いていた様であります。たまたまピンチヒッターとして書いたことが切っ掛けとなり、月刊ダンなどにも「カルテの独り言」という題名で6年間書かせてもらいました。その後、今の道新の「カルテの余白」という欄に寄稿するようになり、今日まで続いて居る次第です。

実は今日こゝへ参りまして、はじめて卓話の題名が「カルテの余白」だという事が判ったのですが、折角ですから来週書きます「カルテの余白」の予告を話したいと思ひます。

私は月曜日から金曜日まで毎日手術をしているのですが、全身麻酔の手術をした後、患者が眼を覚した時、いろいろな言葉を発しまして、例えば、ある子供は、お母さん鏡をちょうだい、鼻がちゃんついているかいとか、水を飲みたいとか、様々であります。その中で特にビックリした事を話してみたいと思ひます。2~3年前、お米屋さんをやっていた80才すぎのお爺いちゃんが、顔の手術をした後

の第一声は、何んとコーヒーを飲みたいという言葉でありました。お米屋さんですから味噌汁を飲みたいと云うのがごく普通と考えられますのでビックリしたわけです。そして治ったらコーヒー店をやりたいと言うんです。ムードのある店にしたいと云うんです。実に若い気持を持って居るんですね。

回診した時、髪をぐしゃぐしゃにしている人の写真を見ていたので、こんなのが好きですかと聞いたところ、実はマイケルジャクソンが大好きだと言うんです。これには本当にビックリしました。到底80才のお爺いちゃんとは思えませんね。考えてみますと人間は暦の上の年齢ではなく気持の持ち方で若さを保つことが出来るんですね。人はいろいろな方と会って、いろいろな話をし合う、そして常に刺激を受けると云う事が大切なのですね。

この伝統ある北ロータリークラブの皆さんも年齢差があろうとも、又職業がそれぞれ違いがある方々が一週間に一回、こうして会って交流を深められるという事は大変素晴らしいことだと思います。今日は誠に拙ない話で申訳けありませんでした。心より御礼申し上げます。

◎ 出席報告

会 員 数	64 名	出 席 率	函 館 北 3月9日	83.87 %
出 席	38 名		函 館 東 3月8日	90.91 %
欠 席	26 名		函 館 3月3日	90.52 %
他クラブ出席	14 名		函館五稜郭 3月4日	100.00 %
出席合計	52 名		函館亀田 3月7日	80.43 %
除 外 者	2 名			

次回・3月30日
プログラム

国際貿易問題について

函館税関長 井関 孝氏

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870



函館北ロータリークラブ会報

チャールズ C. ケラー 国際ロータリー会長テーマ

ROTARIANS---

UNITED IN SERVICE—DEDICATED TO PEACE

ロータリアン---

奉仕に結束—平和に献身



鈴木 巖「静かな朝」制作年不詳 油彩・キャンバス 38.0×46.0

《第1195回例会》 第39号 3月30日(水)

本日のプログラム

「国際貿易問題について」

函館税関長 井関 孝氏

★会 長 川村 邦雄

★幹 事 斉藤 紀一